



学生と町民が共に歩む

● みんなで笑った踊った泣いた

- ・ 住みよいまちを目指す各種委員会の活動
- ・ 協働によるまちづくりセミナー Part 2



みんなで 笑った 踊った 泣いた

8月27日、28日にあそ公園とまちの駅「アウル」で、「24時間テレビチャリティーイベント」が行われ、町民約3千人が集いました。

あそ公園に用意された特設ステージでは、コンサートやヨサコイ、クイズなど学生が趣向を凝らしたイベントを繰り広げ訪れた人を楽しませたほか、青少年ボランティアのジュニアリーダーも集まった子供たちと餅つきをするなど楽しいひと時を過ごしました。

また、このイベントに協賛するお店や商工会女性部、高齢者サロンさくら館などが飲食コーナーを設け、来場者が思い思いにくつろぐ姿が目についたほか、フィナーレでは、2日間のイベントを成し遂げた学生が涙を見せるシーンが印象的でした。

若者の力を起爆剤に

このイベントは、学生が地域福祉を学ぶ場として、また障がい者や高齢者も共に豊かに暮らせるまちを目指し、町民との様々な交流を通して福祉を理解してもらおうと「ゆうゆう24」に登録する北海道医療大学生が中心になって企画準備し開催されたものです。

4年前に町民と交流したいという思いから学生が取り組み、後輩にその思いが受け継がれ、町民の協力を得ながらこの町に根付いたイベントに成長してきました。全国各地から集まる学生は、当別を知り町民とつながりを持つことで自分たちのことも知ってもらおうと、町内のイベントにも積極的に参加し応援してくれています。

本町は“町”でありながら大学を有し、若い力が潜在的に存在するまちです。学生がイベントを通してまちづくりに参加してきた今、私たちはそんな若者の力を、一つの起爆剤と捉え、新しいまちづくりにつなげていけると良いですね。

面白いね手作り紙芝居



学生とゆうゆう24に通う児童が協力して作った大紙芝居。みんな紙芝居に釘付け。

みんなで交流ティーボール



24時間続けた大会に44チーム約450人が参加。子どもからお年寄り、障がいの方も参加し、打って投げて走って笑顔がこぼれました。

楽しく幸せに生きられる町に

実行委員長 小西 力さん

高齢者や障がい者、おとなから子供までみんなが参加できるこの24時間テレビチャリティーイベントでは「生きる」をテーマに言葉では伝えにくい「障がい」についてイベントを通して町民の方に知ってもらい、自分たちの福祉活動にもっと理解を深めてもらおうとイベント内容を工夫しました。

障がい者や高齢者が希望を持って生きていけるようなまちになればと考えています。



チャリティーイベント実行委員会メンバー

左から 小西力さん、高松慎矢さん、笠間修二さん、羽下慶祐さん、山崎照弓さん

学生の声

イベントのテーマ「生きる」の意味を追求しながら、障がい者や高齢者などに対する福祉活動を理解してもらおうイベントにすることが大変でした。

その中でも、絵記号で自分の意思を伝える「コミュニケーション支援ボード」を使つてのクイズ大会では、事前に商店街にこの支援ボードを張り出して啓発しながら行つたのですが、たくさんの子供たちの参加があり、正解率も高く、みんな見てくれていたのだと感じました。

実行委員の学生が町民「100人の声」をビデオに収録するため町内を走り回り協力をお願いする機会がありました。みなさんが快く引き受けてくれて、このまちの暖かさに触れることができました。

町民とふれあうことで当別を身近に感じられるようになりました

イベントを終えても町民の方に「がんばったね」と声を掛けられるようになり、このまちを身近に感じられるようになりました。

今回のイベントを通して子供から高齢者、障がい者まで誰もが住みやすい町になってほしいという思いは伝えられたと思います。

町民の方とイベント準備をしていく中で難しい面や反省することもありましたが、これから社会に出て行く上で必要なことが勉強できて自分たちも良い経験になりました。これからまちの皆さんが主催するイベントにも積極的に参加して町民の方と親しくなり、当別に関わりを持って有意義な学生生活にしたいです。

町民の声

多くの町民や団体が一緒に参加してほしいですね

さくら館 代表 高木 馥美さん

さくら館で高齢者サロンを運営していますが、3年前に下宿していたゆうゆう24の学生から「おばさんの料理がおいしいからイベントで出店してほしい」という一言のお願いからこのチャリティーイベントに関わることになりました。

今回は、さくら館に通う高齢者がつけものやいなり寿司を自分たちで作って出店で販売し、とても好評でした。

イベントに協力することは、普段、社会参加することが少ない高齢者の生きがいづくりにもつながり、学生とのより良い関係づくりにもなると思います。これからは、町民とイベントをつくり上げようとする学生さんに、町民側も協力する姿勢が大切だと思います。個人や団体がもっともっと参加していけばイベントを開催する意味も深くなるのではないのでしょうか？

集まったよチャリティー募金



みなさんの協力により、2日間で16万8千854円の募金が集まりました。これは、福祉活動などに活用されます。

手をつないでフォークダンス



商店街を歩行者天国にしてのフォークダンス。青空の下、学生と町民が手をつないで踊って楽しく交流。

ごみ問題

クリーン当別推進審議会

行財政システム再構築プラン策定検討会や当別町ごみ減量化アクションプランの中で、「家庭ごみの有料化は検討事項」とされていることや泉町長から「ごみの減量化の具体的な施策」について諮問を受けていることから、審議会では、家庭ごみの費用負担について話し合いをしています。

8月31日の審議会の内容

◇家庭ごみの費用負担について
ごみの有料化について前向きに審議した方が良いのではないかと。

住民の意識改革の方法として、家庭ごみの費用負担は、減量化につながる効果的な方法と考える。

◇ごみ減量化の具体的な施策
学生が卒業時期に出す粗大ごみをリユース（再使用）するためのシステムを作ってはどうか。雇用も生まれ、ごみの減量化につながる。



ごみ減量化に関するアンケート結果

町民を対象に行ったアンケートに116人から回答をいただき、特に家庭ごみに関心の高い40歳以上の女性からの意見が多かった。

回答内容

▽ごみ減量の取り組み

ごみの出し方を守り、集団資源回収の実行や詰め替え可能な商品を積極的に買うなど減量を意識している。

▽有料化について

約70%の方がやむを得ないと回答。

詳細は、町ホームページに掲載。

9月5日の審議会の内容

◇町内のコンポストなどの購入助成状況は。昨年度実績は、コンポスト2台、電動生ごみ処理機5台の購入に対して助成している。

◇家庭ごみの費用負担について
費用負担やごみ回収の方法、住民への説明・周知啓発方法など意見が交わされた。

◇ごみの収集方法について

粗大ごみは、不法投棄などの増加も考えられるため、現在のステーション方式から、排出者のわかる戸別収集方式が良いのではないかと。

◇費用負担の実施期間について

近隣市町村が有料化すると、当別町にごみが流れてくる可能性があり、同時期に始めた方が良いのではないかと。

◇分別の拡大とリサイクルの推進について

一人ひとりが意識して出さないと資源もごみになるので、意識付けをさせるためのPRが必要。

◇費用負担の方法について

指定袋を3種類程度作成してはどうか。生ごみは週2回程度回収してはどうか。

◇併せて取り組むべき施策について

生ごみ処理機への助成金の周知と増額をしてはどうか。

住民への説明会が必要ではないかと。

掲載内容は、審議中の「ごみの減量化の具体的な施策」に対する各委員からのご意見を記載しています。

◆ご意見はこちらへ

環境対策課 ☎23-12503

協働

協働の指針策定検討委員会

協働のあり方についての基本的な考え方や、施策の方向性などを示す「協働の指針」の策定について検討し、提言いただくため設置した「当別町協働の指針策定検討委員会」の第2回会議を9月2日に開催しました。

会議では、協働の取り組みに関する団体や企業へのアンケート調査結果や、今後の論点などについて議事が進められました。

委員会での主な意見

◇若い世代とどう関わって協働を進めていくかというのを、今後の論点とし議論すべき。
◇農業者やサラリーマンなどが一緒になって話をする機会があった方がいいのではないかと。
◇何を目的に協働を進めるかイメージが明確になれば、参加しやすいのではないかと。

町民のみなさんへ

当別町の協働の取り組みはまだ始まったばかりです。皆さんと共に考えていきましょう。8月に2回開催したセミナーと第2回協働の指針策定委員会の内容は、町のホームページで公開しています。協働に関するご意見もお待ちしております。

企画課企画調整係
TEL.23-2393 FAX 25-5555

Eメール
gyoukaku@town.tobetsu.hokkaido.jp

ホームページ
http://www.tobetsu.hokkaido.jp/



協働による まちづくり セミナー Part 2

前回に引き続き、2回目のセミナーを8月24日(水)に「ゆとろ」で開催しました。元白老町長の見野全さんに白老町の協働の取り組みを経験に基づいて講演していただきました。



協働が議論されるようになった背景

戦後、国は社会資本整備の充実を図るため国民が生産活動に専念し、経済発展し税収を増やす代わりに、昔は地域で解決していた地域の問題を行政が肩代わりして処理してきました。

しかし、社会資本整備が進むとともに、右肩上がりの経済成長が終わりを告げました。税収が減り、今までどおりの公共サービスが困難となり、より小さな行政を目指し、地方分権、三位一体改革、協働の取り組みという流れになりました。

町内会連合会の取り組み

白老町では、それまで行政の伝達機関だった町内会を、地域から政策を提言する組織へと転換を図りました。役場が団体の事務局を引き受けると、住民は行政にやらされていると感じます。

そこで、役場が持っていた、いろいろな団体の事務局を町内会連合会に移し、まちづくり活動センターで48団体の事務局を4人のスタッフが担う体制を作りました。

まちづくりの主役は町民であり、町民が活躍するステージ(仕組み)を作るのが行政の役割です。

公園の里親制度

この制度は、公園を養子に見立て、町民が「公園の里親」となり、愛情を持ってお世話をしていただ

くボランティア活動です。お年寄りに自分で行くこととして「3m分のゴミ拾い」をお願いしたところからこの制度が始まりました。近所のことは自分たちでやりますよということ、難しい制度ではありません。役場は、ゴミ袋や草刈り道具など必要な物品を用意して、公園に里親(町内会など)の名前入り標識を設置します。地域の取り組みをアピールすることで、活動が他の地域にも広がっていききます。

協働のまちづくりとは

協働のまちづくりには時間がかかりますが、住民と行政が互いの考えをキャッチボールする仕組みを作り、協働をルール化していけばスピードが上がります。協働の取り組みを進めると、お金がないから住民に仕事を押し付けていると思われがちですが「協働のまちづくり」とは住民参加を町の改革につなげ、未来のためにさらに町を良くして行くということです。時代が変わったことを認識し、まず行政が変わらなければならない。議会も住民も変わらなければならない。意識改革には3年かかりました。結果として、今、白老町民は誇りを持って協働に取り組んでいます。情報を公開し、共有して、住民の皆さんに参加してもらうことが、自立するまち当別にとって一番大切なことだと思います。

2 チョットためになる税金教室 住民税所得控除編

所得控除とは、住民税を納める方に配偶者や扶養親族があるかどうか、病気や災害などによる出費があるかどうかなどの個人的な事情を考慮して、それぞれの実情に応じた税負担とするために、所得金額から控除されるものをいいます。

医療費や配偶者控除など16種類がありますが、今回は扶養控除のお勉強にチョットだけお付き合ってください。

扶養控除は本人に扶養親族がいる場合に受けることができます

扶養親族の要件 (12月31日現在で次の全てに当てはまる方)

- 配偶者以外の親族(6親等内の血族及び3親等内の姻族)である。
- 住民税を納める方と生計を同じくしている。
- 年間の合計所得金額が38万円以下である。
- 青色申告者の事業専従者として給与を受けていない、または白色申告者の事業専従者でない。

控除できる金額など

扶養親族の年齢や障がいの有無により異なりますが、33~68万円の控除を受けられます。

扶養控除は、一人の扶養者を複数の方が重複して控除の対象とすることはできません。例えば、実家に住んでいる父母の生活費を兄弟が等しく送金している場合であっても、父母を扶養控除の対象とすることができるのは、兄弟のうちどちらか一人だけになります。

ホームステイで楽しく交流

(9月14～21日)



姉妹都市スウェーデン王国レクサンド市から12人の中学生と引率教諭など6人が9月14日に来町し1週間ホームステイをしながら、町民との交流を繰り広げました。

15日のウエルカムパーティーでホームステイ先の家族から歓迎を受け、通訳ボランティアの東海大学生に手伝ってもらいながら、お互いに身振り手振りで自己紹介を交わしました。翌日からは、町内の施設見学をしたほか、当別、西当別中学校を訪問し、一緒に授業に参加したり給食を味わうなど、生徒と心を通わせることができました。また、商工会女性部に教わりながらいもだんご入りのシチュー作りをしたり、着付けをして茶道や折り紙作りに挑戦したりと、日本の料理や文化にも親しんでいました。

レクサンドの中学生は「当別の人と交流ができて楽しく過ごすことができた」と目を輝かせ、たくさんの思い出とお土産を持って帰国の途につきました。



タウン

トピックス

Town Topics

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み

情報課広報広聴係

TEL 23-3069

思い出いつまでも 閉校記念碑を建立

(9月17日)



今年の3月に閉校した中小屋中学校に、閉校記念事業協賛会が閉校記念碑を建て、同校卒業生など約30人が出席し除幕式が行われました。

小中学生や地域関係者など12人の手で、除幕された石碑には「流るる雲 渡る風 輝く星」と刻まれ、「中小屋の自然はとて素晴らしいものであり、去る雲、吹き渡る風のように中学校の歴史を閉じることとなるが、この学び舎から巣立った人々が当地を忘れることなく、天の川にきらめく星のように、いつまでも輝き続けますように」との願いが込められています。

NPO法人「まちの森」が誕生

(9月7日)



「つくし共同作業所」の3周年とNPO法人「まちの森」の設立記念式典が全久寺で行われ、関係者約50人が出席しました。

「まちの森」は、障がいを抱える人の社会復帰や社会参加を促進し、地域で当たり前のように生活することを支援していくことを目的に設立されました。

これまで「つくし共同作業所」に集う障がいを持つ人が、一人ひとりの夢の実現に向けて様々な活動に取り組んできましたが、今後は「まちの森」を中心に、より充実した活動に広がっていくことでしょう。

町長の日記

17年9月20日(火)

14日夜、スウェーデンのレクサンドから12名の中学生が教育長や教師らと当別町に来た。中学生の内1名は車椅子なのでアシスタントと共にホテルに泊って11名は1人ずつ町内のホストファミリーに落ち着いた。

両町が姉妹都市になって18年になるが、今回も15歳の中学生達を8日間受け入れる為に宿泊や食事の他に歓迎セレモニー、学校授業、レクレーション、イベント等に役場だけでなく交流協会や商工会そしてホストファミリー、更に中学校やサッカークラブ、日ハムファンクラブ、茶道教室など随分多くの方々に協力していただき、8日間に何百人もの町民がいろんな係りで交流をした。

初日はお互いにとまどっていた子供達もすぐに通訳抜きでも親しくなり最後のフェアウェルパーティーでは別れを惜しんで閉会後も帰らず、まるで卒業式のような光景だった。

その席で2007年6月17日に両町の交流20周年記念式典を当別町で行うことを確認した。

北欧の質素で小さな田舎町のレクサンドが福祉や環境に関して世界の最先端をいっている事に学ぶことが多く、両町の交流は今や両国の国際親善の窓口になりつつある。

毎年続いてきた夏至祭りだけでなくスウェーデン王国と手作りの国際交流がこんなに盛んな町が日本のどこにあるのだろう。

にもかかわらず、新聞は今回も記事にできなかった。当別が合併協議をしていた頃は合併に否定的な記事を載せていたのに今は合併で変るところの記事を追っかけている。

小さくても自立して埋没しないように頑張っている町民が多いのに当別の記事はいつも少ないように感じる。

当別からレクサンドへ行った時はあちらの新聞は何回も大きく報道してただけにレクサンドの中学生達に申し訳ない気がしてお別れ会の後、私まで悲しくなった。そして北欧から当別まで車椅子で来てくれた少年が帰りに感激の涙を流していたのが忘れられない。

当別町長衆亭俊考

広げよう ボランティアの輪

(9月10日)



町ボランティアセンターが主催したボランティア入門講座「盲導犬ってどんな犬」が「ゆとろ」で行われ、約30人が参加しました。

北海道盲導犬協会の長谷川満さんが講師を務め、目が見えないとどんな不自由があるかを参加者と一緒に考えたほか、盲導犬がどんな役割をもっているのかを分かりやすく説明しました。また、参加者が実際に目隠しをして手を引いてもらう「手引き」や盲導犬と一緒に歩くなど、目が見えない体験もしました。

参加者は「目が見えないととても不安になったけど、盲導犬と一緒にだとしっかり歩くことができた」と盲導犬の働きに驚いた様子でした。

当別青年会議所が創立25周年

(9月18日)



(社)当別青年会議所が並川ステラホールで創立25周年記念式典を開催し、同会OBや全道各地の青年会議所から関係者約160人が出席しました。

武田龍太郎理事長は「節目ごとに町の歴史に触れる事業に取り組んでいるこの会のたすきをしっかりと受け取り、未来につないでいきたい」と挨拶しました。

また、25周年記念事業として、町民劇「石狩川」を行うことが発表されました。この演劇は、町民参加の下、現在、猛稽古が行われています。

町民劇は11月6日(日)総合体育館で行なわれます。

特色ある“学校づくり”を目指して!!

「外部講師などの活用」

命を守る着衣水泳学習

中小屋小学校



服を着ていると思うようにいかないね

9月12日に体育指導委員伊藤美穂子さんの指導のもと『着衣水泳』の学習を行いました。

中小屋小学校の子供たちは、水泳が大好き。でも、着衣のままでは思うように泳ぐことができず、浮くことさえ難しくなることを身をもって体験し、水の怖さを知りました。

また、ペットボトルやビニール袋が浮き袋の代わりに

なり、命を助ける道具になることも体験し、溺れている人の簡単な救助方法の指導も受けました。この日の経験を通して子供たちは命を大切にすることと同時に、命を守る方法を学ぶことができました。

ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会

☎23-2689

町教育委員会のホームページ

<http://w2.makko.biz/~tobetsukyo>



当別小学校にオヤジの会が発足。フェンスのペンキ塗りを手始めに、今後、子供たちのために活動の場を増やしていきます。

エコロジカルコミュニティーと協力 道民の森で「にれっ子キャンプ」

東裏小学校



どんな音が聞こえるかな?

7月15・16日に道民の森神威尻地区で、全校児童参加の「にれっ子キャンプ」を実施しました。

総合学習の一環として、NPO法人エコロジカルコミュニティーの協力のもと、ミズナラの巨木の音を聞いたり、野ネズミの巣の型を石膏で取ったり、自然の素材を使つての表札づくりにも挑戦したほか、夜の森探検では星の観察や、夜行性の動物の足型をとることもしました。

キャンプの中で身近にエゾフクロウやホタルを見ることができると、大自然の中で盛りだくさんのすばらしい体験をすることができ、子供たちの目を輝かせていました。

「尊い命」 救急救命講習で学ぶ

西当別中学校

本校2年生を対象とした救急救命講習会が、8月22日から4日間にわたって学級ごとに行われました。

この取り組みは、道徳教育の一環として尊い命を守り、けが人や急病人に対して救命率を高めるための応急処置方法を学ぶことをねらいとしたものです。

救命士の方の熱心な指導に生徒も真剣な眼差しで聞き入り、人工呼吸などの実技も上手にこなすことができ「よくできたね」と褒めてもらえるほどでした。全生徒が修了書を手に本校を巣立ち、緊急時に社会のために役立ってくれる人間に育て欲しいと願っています。



いざという時に行動できるように

(9月3日)

子どもの心を守る当別町PTA研究会研究大会



弁華別中学校で行われた当別町PTA研究会研究大会に町内のPTA関係者が約130人集まりました。

「子どもの心を守る」をテーマに元札幌市立北野中学校教諭の坂本勤さんが講演しました。内容は、現役時代に書いた学年だよりを1冊の本にまとめた「タマゴマンは中学生」(北海道新聞社刊)を基に「子供たちの思いや行動を温かい目と心でとらえながら、親として具体的にどう対応していったらよいか」についてユーモアを交えながら、笑いあり、涙ありの心に響く本当に素晴らしいお話でした。終了後のアンケートには「親として自分を見つめ直す良い機会となった」などの感想もあり、家庭での教育について考えることができた良い機会となりました。

(9月25日)

管内体育指導委員研修会を開催



体育指導委員の資質の向上と石狩管内体育指導委員の連携を図ることを目的に石狩管内9市町村から70人の体育指導委員が町総合体育館に集まり研修会を開きました。

北海道医療大学助教授森田勲さんから「北国の生活に適した体力トレーニング」をテーマに長期間雪のある生活環境の中での体力・健康づくりについて講義を受けました。講義終了後、参加者全員で当別町体育指導委員協議会の指導のもとで軽スポーツを楽しみ、いい汗をかくことができました。

管内9市町村では最後の研修会となりましたが、各市町村の活動状況の情報交換などもでき、参加した体育指導委員には有意義な一日となりました。

“食”シリーズ 親子で給食「おいしいね」



2学期が始まってすぐに、中小屋小学校で親子の給食試食会がありました。いつもの給食と違い、お母さんたちと一緒で楽しく食事をする姿がありました。子供からは「みんなでテーブルを囲んで楽しく食べることができた」と感想があったほか、親からは「給食は好き嫌い関係なく食べることができるので良いと思います。いろいろな食べ物、料理を食べてもらいたい」と給食の良さを実感していました。

試食の後には、学校栄養職員から「栄養ってなあに～食事と生活リズムより～」というテーマで、栄養のことや生活リズムを整えることの大切さについて親子で話を聞きました。

おめでとうございます

当別中学校吹奏楽部が
全道コンクールで銀賞を受賞

当別中学校吹奏楽部は、9月2日(金)札幌コンサートホールKitaraで行われた第50回北海道吹奏楽部コンクール(北海道吹奏楽連盟主催)C編成に出場し、「海の男達の歌」を演奏して銀賞を受賞しました。

当別中学校野球部が
全道大会でベスト8

当別中学校野球部は、8月28日(日)第2回全道選抜中学校新人選手大会石狩支部大会で優勝し、9月23日から滝川市などで開催された全道大会では、25校出場の中、ベスト8となる成績を収めました。

幼稚園統合のお知らせ

平成18年4月より当別幼稚園と鉄北幼稚園が統合になります。

◆名称 当別幼稚園

◆場所 当別町北栄町20番地
(現在の鉄北幼稚園)

予 防 接 種

インフルエンザ予防接種を受けましょう

高齢者へのインフルエンザの発病予防、特に重症化を防止するため、予防接種を実施します。

接種日 10月1日(土)～12月31日(土)の期間で各医療機関の診療日。実施期間が昨年より短くなりましたのでご注意ください。

対象 65歳以上の方。60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器に重い障害(身体障害者手帳1級程度)のある方。

接種方法 医療機関で診察し接種可能の場合、1回接種します。

接種料金 自己負担額1,000円。生活保護の方は負担額を免除。

生活保護決定通知書を持参のこと。

持ち物 町発行の健康手帳。

実施機関 町内の医療機関。

申込方法 事前に実施医療機関へ直接、予約してください。

町外の医療機関で接種を希望する方はお問い合わせください。

問合せ 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内・☎23 - 2346)



老 人 医 療

**該当と思われる方は申請を
北海道の老人医療給付「道老」**

次の要件に該当の方は、北海道の老人医療給付を申請できます。認定された場合、医療費の自己負

担額は1割または2割となります。

「道老」の該当要件

18歳以上の子がいない、昭和14年7月31日以前に生まれた70歳未満で、次の世帯に該当する方。

6カ月以上一人暮らしをしている老人単身世帯。

配偶者が60歳以上の老人夫婦世帯。

老人と児童(18歳未満)の世帯。

所得制限があるほか、町外在住の子の所得証明書・戸籍謄本などが必要ですので、詳しくはお問い合わせください。

この制度は、平成20年3月末日で廃止となります。

問合せ 福祉課福祉係(「ゆとろ」内・☎23 - 3019)

年 金

読んで得する年金・国保のお話

国 保

付加保険料を納めて年金を上乗せ

将来受け取る老齢基礎年金を、より高い年金で受けたいと考えている方に、月々400円を上乗せして納付することができる付加年金制度があります。

国民年金の第1号被保険者の保険料と給付額は、厚生年金と違って定額のため、将来の生活設計に合わせて基礎年金に上乗せができる制度です。

400円の付加保険料を納められるのは、第1号被保険者または任意加入被保険者の方で、免除・猶予を受けている方、国民年金基金に加入している方は除きます。

老齢基礎年金の受給権を得た月の翌月から受給できますが、年金を繰り上げまたは繰り下げて受給するときは、付加年金も率に応じて減額・増額されます。

例えば、2年間付加年金に加入して納付した場合、付加保険料は24カ月×400円＝9,600円となりますが、65歳で年金を受給する際には24カ月×200円＝4,800円が上乗せされて受給でき、有利な制度になっています。

◆役場窓口年金相談日

10月5日(水)・26日(水)

役場国保年金係へお気軽にお越しください。

◆年金保険相談所の開設(札幌北社会保険事務所)

日時 10月20日(木)・10時～15時

場所 商工会館(錦町)

短期人間ドック健康検査料の助成について

国保に加入している40歳から64歳までの方を対象に、短期人間ドック健康検査料のうち、15,000円を助成します。

人間ドック助成の対象医療機関

- ◆堀江病院(樺戸町)
- ◆当別ファミリークリニック(ビトエ)
- ◆札幌厚生病院(札幌市中央区)

気をつけて保険証の紛失

紛失や盗難などによる保険証の再交付申請件数は、毎月5件前後あります。

万が一紛失・盗難等された時は、最寄りの警察に届け出てください。また、再交付申請には運転免許証など身分確認できるものを持参してください。

国内でこんな犯罪被害例が報告されています。

- ◆身に覚えのない借金の返済督促状が届いた。
- ◆契約していない携帯電話の利用料金督促状が届いた。



詳細・問合せ 住民生活課国保年金係(☎23 - 2467)

医療費

ご存知ですか 医療費の助成制度

申請・問合せ

- ◇ 重度・ひとり親医療費制度 福祉課福祉係（「ゆとろ」内・☎23-3019）
- ◇ 乳幼児医療費制度 子育て推進課子ども係（「ゆとろ」内・☎23-3024）

町では次の制度対象となる方に、医療費を助成しています。該当と思われる方はお問い合わせください。

対象制度	対象者の内容	手続きに必要なもの	助成内容
1 重度心身障がい者医療費	身体障害者手帳1・2級の方と、3級（心臓・腎臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸または人免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害がある）の方。 療育手帳「A」判定の方。 精神科医から「重度知的障がい者」と診断された方。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康保険証と印鑑 ■ 身体障害者手帳または療育手帳 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 3歳未満児や住民税非課税世帯の方は、医療費の自己負担分を助成。ただし初診時一部負担金の医科580円、歯科510円、柔道整復270円（乳幼児医療は除く）は自己負担になります。 ■ 上記以外の方は、1割自己負担。（月額上限以内） 月額上限 入院40,200円 通院12,000円
2 ひとり親家庭等医療費	父がいない（行方不明なども含む）または父が重度心身障がい者などの家庭の母と児童。 両親のいない児童。 母がいない（行方不明なども含む）または母が重度心身障がい者などの家庭の父と児童。 対象者は20歳未満の児童と母または父。（18歳以上の児童は在学証明書が必要） 児童は入院と通院、母または父は入院のみ助成対象。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康保険証と印鑑 ■ 児童扶養手当証書または戸籍謄本 	
3 乳幼児医療費	入院、通院ともに小学校就学前までの児童が対象。（平成13年4月1日以降に生まれた児童の保護者には所得制限があります。）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子供の名前が記載された健康保険証と印鑑 	

◆ 上記の制度には所得による制限あり。（2は、母または父及び児童が受ける養育費の8割も所得金額に加算。）

◆ 平成17年1月1日に、当別町に住居登録がない方は「所得証明書」も手続きに必要。

◆ 受給者証の有効期限は平成17年10月1日～平成18年7月31日までに変わります。

◆ 受給者証をお持ちの方で次の場合は必ず届出をしてください。

健康保険証が変更になったとき。 他市町村に転出するとき。 転居したとき。



検診

がん検診を 受けましょう

今年度より子宮がん・乳がん検診の対象年齢が変わっています。確認の上、申し込みください。

検診日程

バス送迎で対がん協会へ行き受診
▽11月9日（水）～西当別コミセンに集合。

▽12月2日（金）～ゆとろに集合。

▽集合時間 7時55分～8時10分

都合のよい日に個人で受診

▽受診期間 平成18年3月31日まで。（事前に申し込み必要）

検診機関

北海道対がん協会札幌検診センター（札幌市東区北26東14）

▼検診料 検診項目によって一般、国保加入者の検診料金が異なる。

ります。広報5月号に掲載。

生活保護の方は無料。

申込み・問合せ

事前に福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23-2346）へ、お電話で申込みください。

検診項目	対象
胃がん	35歳～
肺がん（レントゲン） "（喀たん検査）	40歳～ 必要者
大腸がん	40歳～
子宮がん（頸部） "（体部）	20歳～ 必要者
乳がん（視触診とマンモグラフィ）	40歳～
骨粗しょう症検診	30～59歳

◆ 子宮がん・乳がん検診は2年に1度の受診。

◆ 婦人科超音波検査を希望の方は、ご相談ください。

◆ 骨粗しょう症検診も対がん協会のみでの受診になります。

老人医療

保険証が変わったときなど 老人医療受給者は届出を

「老人保健法受給者証」か「道老受給者証」をお持ちの方で、健康保険証が変わったときなどは、必ず福祉係に届出をお願いします。

届出事項

■ 加入している健康保険証が変わったとき

■ 他市町村から転入したとき

■ 氏名変更や町内転居をしたとき

❖ 健康保険証と老人医療受給者証を持参し14日以内に手続きを。

■ 死亡したとき（死亡の届出義務者）

■ 他市町村に転出するとき

❖ 老人医療受給者証を速やかにお返しください。

届出先・問合せ 福祉課福祉係（「ゆとろ」内・☎23-3019）

調査

固定資産税の算出基礎
土地・家屋調査にご協力を

①土地・家屋調査

実際の土地利用や家屋の変更状況を調査し、地方税法に基づき適正な評価を行います。

なお、住宅の新築、増築、取り壊しなどで宅地の利用状況が変わった方、家屋の増築・取り壊しや未登記家屋の所有者が変わった方は届出をしてください。届出がないと、所有していない家屋に固定資産税が課税される場合があります。

②新築家屋の調査

今年新築（増築）した家屋の間取りや設備などを調査し、来年度からの固定資産税、都市計画税を算出するとともに重要な調査です。

調査日時は、連絡の上、可能な限り都合に合わせて伺います。

調査期間 10月から12月

届出先・詳細 税務課資産税係
(☎23 - 2333)

委員募集

下水道事業運営委員会
委員を公募します

町では、広く町民の意見を下水道事業の運営に反映させるため、10名以内で構成する、当別町下水道事業運営委員会の委員を公募します。

募集内容 町内に在住の20歳以上の方3名程度(任期は2年)。ほかに学識経験者、団体からの推薦者が委員に加わります。

会議内容 下水道事業の運営(受益者負担金、下水道使用料、水洗化など)に関する調査、審議。(本年度は5回程度開催予定)なお、会議内容は公開されます。

応募方法 申込書に必要事項を記載し、下水道事業についての感想を添えて、持参・郵便・FAX・メールで応募してください。

(申込書は下水道課にあるほか、町ホームページからダウンロード可)

応募締切 10月20日(木)

問合せ 下水道課庶務係(☎23 - 3542/FAX23 - 3206/Eメール
gesui@town.tobetsu.hokkaido.jp)

下水道について皆さんの意見を、是非お寄せください。

講習

第2回甲種防火管理者
取得講習会を開催します

防火管理者が必要な施設

集会場、飲食店、店舗など収容人員が30人以上の不特定多数の者が出入する施設。

アパート、学校、事業所などで収容人員が50人以上の施設。

▼講習日時 11月17日(木)～18日(金) 10時～17時

▼講習場所 石狩市花川北コミセン(石狩市花川北3条2丁目)

▼申込期間・定員 10月3日(月)～11月4日(金)、70名まで。

受講料 無料(参考書代3,250円必要)

申込み・詳細 当別消防署予防係(☎23 - 2537)申請書あります。

人事

9月1日付け
人事異動

◆役場

環境対策課参事～東谷久司

農林課長～松浦悟志

福祉課主幹～高取真由美

農林課耕地林政係主査～野口幸成

維持管理課用地係長～木村稔

◆石狩北部消防事務組合

総務課財務係長～曾川美樹

◆当別消防署

救急救助課長～小畑留雄

消防課主幹～田川春見

警防課主幹(本部警防係長)～

川辺保夫

消防課主幹(指導係長事務取扱)

～河村文行

STOP! ごみ焼き・野焼き

ごみの焼却は許可を受けた焼却施設でしか行えません。野外や自家製焼却炉でのごみ焼きは、法律に違反し、5年以下の懲役若しくは1千万円以下の罰金となります。

また、稲わらなどの焼却は、その煙で交通障害や地域住民に迷惑をかける事となります。

農地から搬出し堆肥化するなど適切な処理をお願いします。

▼担当 環境対策課環境対策係

傍聴しませんか

思いやりと生きがいを感じられるまちづくり

第3期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会

▼日時 10月17日(月) 19時～ 場所 ゆとろ(西町)

▼議題 1 介護保険サービスの目標設定 2 地域密着型サービス

▼申込み・詳細 福祉課介護サービス係(「ゆとろ」内・☎23-3029)

最低賃金 10月1日現在で641円

北海道内の事業所で働く全ての方が該当。 <労働基準監督署>

全国労働衛生週間 10月1日(土)～7日(金)

働きすぎではありませんか 働き方を見直して心とからだの健康づくり

子育て

相談をお受けします 「巡回児童相談」

開催日 11月21日(月)

場所 ゆとろ(西町)

相談内容 言葉・発達の遅れ、療育手帳の判定など。(18歳未満のお子さんが対象)

相談員 北海道中央児童相談所の児童福祉司と心理判定員

申込期限 10月31日(月)

その他

相談人数に制限があります。(申込状況により、相談が受けられない場合もあります。)

相談時間は、申込者の事情などを考慮しながら決定します。(場合によっては、学校の授業時間中に設定されることもあります。)

相談を受けるにあたって、お子さんや家庭の様子を調査する場合があります。

申込み・詳細 子育て推進課子ども係(「ゆとろ」内・☎23-3024)

募集

平成18年度当別幼稚園 園児を募集します

平成18年度より当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合します。

名称は当別幼稚園になります。(場所は現在の鉄北幼稚園)

▼募集園児・人数

4歳児~平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた子。60名

5歳児~平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた子。26名

▼願書配付 10月28日(金)~11月8日(火) 9時~15時まで。鉄北幼稚園、西当別コミセンで配付。

▼入園説明会

日時 10月27日(木) 10時~

場所 役場第二庁舎(白樺町)

▼申込方法

鉄北幼稚園に11月11日(金)までに入園願書を提出のこと。

▼面接日時・会場

当別地区 11月16日(水)

西当別地区 11月17日(木)

時間は13時~15時、会場は鉄北幼稚園です。

▼保育料など 入園料4,000円・保育料8,900円(月額)

▼問合せ 鉄北幼稚園(☎23-1567)または町教委管理課学校教育係(☎23-2689)へ。

募集

技術を磨きませんか 道立高等技術専門学院生募集

科目 精密機械科/金属加工科/電子工学科/販売システム科/電子印刷科/建築技術科/建築設備科/エクステリア技術科

訓練期間 2年間(エクステリア技術科は1年間)

応募期間・資格・試験日

普通課程 11月1日~20日。高卒以上。試験日⇒12月5日(月)。

短期課程 12月1日~平成18年1月20日。中卒以上。試験日⇒平成18年2月6日(月)。

詳細・問合せ

道立札幌高等技術専門学院(☎011-781-5541)または札幌北公共職業安定所(☎011-743-8609)へ。

融資

活用してください 国の教育ローン

教育のために必要な資金を融資する公的な制度です。

▼対象者 大学、短大、専修学校などへ入学・在学する本人または保護者で、前年の年収が1世帯990万円(事業所得者は770万円)以内の方。

▼融資額 学生一人200万円以内。

▼対象経費 入学時や在学中に必要な経費。

▼返済期間 10年以内(年1.65%元利均等毎月払い)ほか。

▼詳細・問合せ 国民生活金融公庫札幌北支店(☎011-726-4221)

受講募集

能力開発・人材育成お役立ち 中小企業大学校旭川校研修

研修名

新任管理者育成シリーズ・道産子経営塾・現場改善シリーズほか。

町の補助

研修(短期コース)参加者の受講料を全額補助。

研修内容・補助制度の詳細

中小企業大学校旭川校(☎0166-65-1200)または商工会(☎23-2447)へ。

スウェーデン交流センター情報 ウールのある生活

❖期間 10月8日(土)~11月6日(日) 10時~16時30分

◎期間中編物講習会開催

❖開催日 毎週土曜 14時~(23日休講)

❖参加費 1,000円(別途材料費)

ルシア祭に参加しよう

スウェーデンの伝統的な行事「ルシア祭」に参加の小学生25名を募集します。申し込みは10月24日(月)までに同センターへ。

❖問合せ 同交流センター
☎26-2360/FAX26-2992/

募集

当別町職員を募集 採用試験を実施します

採用予定者 一般事務職（民間企業職務経験者）1名

受験資格

高校卒業以上または同等と認められる30歳～40歳位までで、民間企業において、地方公共団体の情報処理システムに係る各種業務を平成17年10月1日現在で5年以上経験した方。

試験日 11月5日（土）

試験会場 当別町役場（白樺町）

受験手続き

受験申込書（総務課に備付け）に、本人が必要事項を記入し、写真を貼って持参または郵送で提出してください。

受付期間 10月3日（月）～24日（月）（土、日、祝日除く）

採用予定日 12月1日または平成18年1月1日

詳細・問合せ 総務課人事係（☎23 - 2330）

相談窓口

アスベスト（石綿）の 心配ごとは相談窓口へ

アスベスト（石綿）に関する心配ごとは相談窓口をご利用ください。また、アスベストの作業経験があり健康に不安のある方は、医療機関にご相談の上、胸部レントゲンによる健康診断を受診するようにしてください。

アスベストに関する相談

◆建物に関すること

■石狩支庁建設指導課建築住宅係（☎011 - 231 - 4111・内34 - 473）

◆環境汚染に関すること

■石狩支庁環境生活課環境保全係（☎011 - 231 - 4111・内34 - 371）

■役場環境対策課（☎23 - 2503）健康などに関する相談窓口は、P19「いきいき健康生活」に掲載しています。

アスベストに関する詳しい内容は、町ホームページに掲載しています。

選挙

9月11日執行 第44回 衆議院議員総選挙開票結果

〔当別町の開票結果〕

▼衆議院小選挙区

当日有権者数 15,704人

投票者数 11,842人

投票率 75.41%

自由民主党 町村信孝 6,616票

民主党 小林ちよみ 4,118票

日本共産党 山崎たかひろ 941票

得票順（無効票 167票）

▼衆議院比例代表

当日有権者数 15,714票

投票者数 11,845票

投票率 75.38%

民主党 3,660票

自由民主党 3,581票

公明党 1,545票

新党大地 1,240票

日本共産党 997票

社会民主党 510票

得票順

（無効票 310票 持ち帰り2票）

困ったときの納税Q&A



税金を納めないでいると
どうなるんだろう？

督促状の発送・催告

まず、督促状が送付され、次に催告書や電話、訪問などにより納税を促します。

↓ それでも納めない場合は

滞納処分

滞納者の預貯金や財産を調査して給料や財産（不動産・預貯金など）を差し押さえ、さらにその財産を公売するなどの滞納処分を行います。

納税は期限を守って計画的に!!

10月は町道民税・固定資産税第3期・国民健康保険第4期の納付月です。

◆夜間納税相談 毎月第2・第4木曜日
19時30分まで

◆問合せ 納税課納税係（☎23 - 2341）

10月は マイバック運動強調月間

地球にやさしくごみを出さない

生活の第一歩

あなたにもできるでしょう？

「レジ袋」を使わない

「お買い物袋」の持参

▼担当 環境対策課環境対策係

町有地をお売りします

◆町有地所在 太美町1488番地6

◆地目 宅地

◆売払い方法 一般競争入札

◆入札予定日 10月31日（月）

◆申込方法 財政課で配布する入札参加申込書に必要事項を記入し10月25日までに提出してください。

▼詳細 管財係（☎23 - 2331）

献血に協力してください

16歳から69歳までの健康な方ならどなたでも。（65歳以上の方は、60～64歳までに献血経験がある方）

▼日時 10月14日（金）

13時30分～16時

▼場所 北石狩農協本所（錦町）

第56回

当別町文化祭



11月4日(金)～6日(日)

▷文化祭会場 西当別コミセン(太美町)1カ所で開催します。発表と展示を行います。

詳しい日程や内容はチラシなどでお知らせします。

一般参加者申込み

▷申込期限 発表・展示ともに10月14日(金)まで。

展示部門の出展は1人2点まで

▷申込み・詳細 公民館(☎23-2511) 社会教育係(「総合体育館」内・☎22-3834) 西当別コミセン(☎26-3300)へ。

記念植樹 しませんか

上当別に森林体験として活用できる「げんきの森」ができました。

この森にあなたの記念樹を植えませんか。

開催日 10月23日(日)

植樹場所 げんきの森(上当別の町有林)

集合場所 白樺コミセン(白樺町)に10時集合。(移動は各自、車をお願いします。)

対象者 町内在住の方。

内容 各自お好きな苗木を用意し、入学や結婚、お誕生などの記念として植樹してください。(苗木がない方には用意します。)

申込締切 10月11日(火) 先着20名

主催 石狩森づくりセンター

申込み・問合せ 農林課耕地林政係(☎23-3096)

親子で参加しませんか 野菜のお寿司づくり

苦手な食材もみんなで作るとおいしく食べられます。

対象者 小学4～6年生までの子とその親(参加費は1人100円)

会場・開催日時

西当別コミセン～10月8日(土)

10時30分～13時30分(受付10時)

ゆとろ～10月15日(土)

10時～13時(受付9時30分)

持ち物 エプロン・三角巾・ふきん2枚・上靴・筆記用具

申込締切・定員

西当別コミセン 10月4日(火)

先着20組

ゆとろ 10月11日(火)先着16組

主催 町食生活改善協議会

申込み・問合せ

佐々木(☎/FAX26-2652)または荒戸(☎/FAX23-2670)へ住所・氏名・学年をお知らせください。

自分たちで思い出に残る 成人式にしよう!!

町教委では、平成18年1月8日(日)開催の「当別町成人式」を企画運営する

成人式実行委員を募集します。

❖対象 町内在住で来年成人式を迎える方(昭和60年4月2日～昭和61年4月1日までに生まれた方)

❖申込締切 10月21日(金)

❖申込み・問合せ 社会教育課社会教育係(「総合体育館」内・☎22-3834)



秋の火災予防運動 10月15～31日

第6回防火ミニバレー大会

参加者募集

▼日時 10月30日(日)13時～

▼場所 町総合体育館(白樺町)

▼チーム 一般女子の部(町内在住・勤務の女性。1チーム5名以内)

▼参加料(保険) 一人30円

▼申込締切 10月23日(日)

▼申込み・詳細 当別消防署予防係(☎23-2537)

認知症を知るフォーラム

☑日時 10月28日(金)13時～

☑場所 かでの2・7(札幌市)

☑講演 「認知症の発見方法と介護のコツ」講師今井幸充さん(日本社会事業大学院教授)

介護劇、介護体験発表、パネルディスカッションがあります。

☑参加料 無料

☑申込み 道ばけ老人を支える家族の会(FAX011-232-8308)まで氏名・住所・電話番号を明記の上、申し込みください。

相談無料・秘密厳守 法務局なんでも相談

☑日時 10月22日(土)10時～16時

☑場所 札幌駅南口広場地下街アピア「ライラックホール」

☑相談内容 土地・家屋や会社の登記、戸籍の届出や国籍の取得、地代・家賃の紛争における供託、いじめ・体罰などの人権問題など。

☑相談対応者 札幌法務局職員

☑問合せ 札幌法務局(☎011-709-2311)

1等・前後賞合わせて2億円!

オータムジャンボ宝くじ

好評発売中 1枚300円

❖発売は10月11日(火)まで。この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。

❖抽選日は10月14日(金)。

❖詳細 (財)北海道市町村振興協会(☎011-232-0281)



命を救え 救急の日に自動体外式除細動器講習会



当別消防署では、自動体外式除細動器(AED)を使った講習会を、救急の日(9月9日)から実施しています。

AEDは、心停止となる心室細動という病気にかかった場合に電気ショックで治療する機器で、音声に従って誰もが簡単に救命行為ができ、集客施設などへの設置の普及が見込まれます。

同署では、AEDを含めた応急手当講習(人工呼吸・心肺蘇生法など)を行っています。是非受講してください。

いざと言うとき、大切な人を守る一助になるかもしれません。

普通救命講習 一般、事業所などの方を対象とした3時間コース。

普通救命講習 事業所などで心停止者に応急の対応をすることが期待できる方を対象とした4時間コース。

受講申し込みは同署救急救助課救急係(☎23-2537)まで。

将来の職業に向かって



当別中学校3年生が町内30カ所所で職業体験学習を行いました。当別消防署の訓練実習に訪れた2名の生徒は、消防服を身にまとい、酸素ボンベを背負って放水訓練に望みました。消防活動の厳しさを身を持って体験した中学生の顔に汗が光っていました。(9月15日)

イベント

町内音楽団体の祭典 第4回当別ふくろう音楽祭

▼日時 10月10日(月・祝)14時~

▼会場 当別中学校(下川町)
入場無料(入場整理券配布「あえ〜る」「みやもと酒店(太美)」)。上履き持参。

▼問合せ 実行委員会・武田
(☎23-2073)

絵本に親しむ講演会 ひこう船LIVEinToubetsu

手遊び・歌遊び・読み聞かせ

▼日時 10月15日(土)10時30分~

▼場所 西当別コミセン(太美町)
入場無料・どなたでも。

出演 手遊びユニット「ひこう船」

主催 おはなしサークルたんぽぽ

問合せ 町教委(☎22-3834)

「道の日」に国道清掃



対雁町内会の住民と札幌開発建設部札幌道路事務所当別分庁舎の職員が合同で、国道275号沿いのごみ拾いを行いました。

8月9日の「道の日」に、同団体が自主的に行ったもので、約2時間かけて、車から捨てられた空き缶やビニール袋などを拾い、景観もきれいになりました。(8月9日)

100歳の戸来さんをお祝い



敬老の日を前に、100歳を迎えた釧路の戸来直政さんが、総理大臣と北海道知事からのお祝い状と、泉亭町長からの記念品が贈られました。

戸来さんは、自宅で元気に過ごしていて、読書と友人に手紙を書くことが趣味。「当別は住みよい町。健康に気をつけて長生きしたい」と笑顔で語ってくれました。(9月13日)

西当別コミセン図書室

	タイトル	著者
一般書	震度0(ゼロ)	横山 秀夫
	査察機長	内田 幹樹
	花まんま	朱川 湊人
	土の中の子供	中村 文則
	豆乳、おいしいレシピ	千葉真知子
	世界遺産、知床の素顔	佐古 浩敏
児童書	世にも不幸なできごと	レモニー・スケット
	1000000ぼんのブナの木	塩野 米松
	楽園	関屋 敏隆
	空のてっぺん銀色の風	ひろはたえりこ
	もったいないばあさん	あかねつる

公民館図書室

	タイトル	著者
一般書	ツバル	遠藤 秀一
	古文書はこんなに面白い	油井 宏子
	風味絶佳	山田 詠美
	赤絵の桜	山本 一力
	東京DOLL	石田 衣良
	ダイブ	ビビン・フェレーラス
児童書	善悪ってなに?働くってどんなこと?	小浜 逸郎
	ユウキ	伊藤 遊
	にじいろのさかなまいごになる	マーカス・フィスター
	デイビッドがやっちゃった	デイビッド・シャン
	アンネの日記増補新訂版	アンネ・フランク

新刊

図書案内

Library

(8月14日～9月13日分)

おくやみ

氏名	年齢	世帯主	住所
有馬金一郎	65	本人	川下
高野 榮吉	91	榮作	蔵 岱
蒲沢 ウメ	89	本人	太美町
吉田 實	86	本人	東 町
村木 久治	80	本人	幸 町
野寅一郎	86	和子	六軒町
川口 松悦	72	本人	北栄町
佐々木賢市	76	本人	末 広
本間 榮	52	芳三	緑 町

ご寄付ありがとうございました

☆当別町社会福祉協議会へ
井利元 征さん(ピトエ)から10万円
野クリさん(六軒町)から10万円

一日合同行政相談所開設

日時 10月6日(木)13時～16時
会場 ゆとろ(西町)
法律相談・行政相談・心配ごと相談・人権相談・消費相談に専門の相談員が応じます。
相談は無料で、秘密は厳守。直接会場へお越しください。
問合せ 情報課広報係
(☎23 - 3069)



当別高校生が鉢花を配り、交通安全の呼びかけ(9月22日・国道275号沿い)

交通死亡事故抑止 4大キャンペーン実施中

- ♠スピードダウン ♣高齢者事故防止
- ♥シートベルト着用 ◆飲酒運転追放

正くんファミリー

No.324 北本久美子



人の動き 9月1日現在

()は前月との比較

人口	19,896 人	(2 人)
世帯	7,722 世帯	(10世帯)
男	9,727 人	(-1人)
女	10,169 人	(3 人)

交通

安全 みんなで誓う交通安全

当別町の交通事故発生件数 (1～8月累計)

	平成17年	平成16年	増減数
発生件数	65	59	+6
死者数	2	2	0
傷者数	91	85	+6

☑法律相談(毎月第1木曜日に実施)

日時 11月8日・13時～16時 **会場** 「ゆとろ」(西町) **申込・詳細** 事前に福祉課福祉係(☎23 - 3019)へ。

☑心配ごと相談(今月は第1・4木曜日に実施)

日時 10月6日、10月27日・13時～16時 **会場** 「ゆとろ」(西町) **申込・詳細** 町社会福祉協議会(☎22 - 2301)へ。

Brithday

おめでとう

氏名	父	母	住所
佐藤壮太郎	男 太郎	有希子	春日町
古谷 愛果	女 辰幸	リラ	北栄町
富士本結月	女 洋	亜希子	若 葉
小武 由夏	女 伸広	明美	金 沢
首藤 蒼	男 剛史	美紀	西 町
寺島 陽	女 丈	誉恵	北栄町
澤田 陵佑	男 佳和	優子	栄 町

商店街活性化センター

「あえ～る」情報

❖シルバーの写真とパネル展

❖期間 10月7日(金)～9日(日)
無料包丁研ぎ(一人2本まで)
7日(金)10時～15時

❖国際交流写真展

レクサンド市青少年交流事業

❖期間 10月14日(金)～23日(日)

❖清水しおりつつわ展

❖期間 11月2日(水)～6日(日)

時間は10時～17時

(月曜は休館、祝日の場合は翌日休館/最終日は15時まで。)

詳細 あえ～る(☎25-5116)
商工会(☎23-2447)

まちの駅「アウル」情報

❖ハロウィン子供まつり

❖日時 10月8日(土) 10時～14時
❖主催 本通振興会
❖問合せ あえ～る

❖おいしい当別再発見大感謝祭

新米・小豆無料配布
もちつき・ビンゴ・抽選会
❖日時 10月16日(日)
11時～14時30分
❖主催 美しいまち生き活きた当別を創る会
❖問合せ 商工会

健康カレンダー

Health Calendr

10月

ゆとろ～総合保健福祉センター（西町）西コミ～西当別コミュニティセンター（太美町）

申込・詳細 福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23 - 2346）

	事業名	日時	会場	対象者・内容
お母さんと乳幼児	4カ月・10カ月児健診	3日 月 受付13:00～14:00	ゆとろ	該当の日程を対象者へ通知します。 お子さんの成長を確認し、子育てや離乳食など、日ごろの悩みを解消しましょう。 ◆4カ月児にBCG予防接種をします。
	1歳8カ月・3歳児健診	21日 金 受付13:00～14:00	西コミ	
	ポリオ予防接種	13日 木 18日 火 13:00～13:30	ゆとろ	生後3～90カ月のお子さんへ「小児マヒ」の予防接種をします。（予約不要）
		11日 火 20日 木 13:00～13:30		
歯科健診・フッ素塗布	25日 火 9:30～14:00		1歳から就学前までの幼児。 虫歯のチェックと、フッ素の塗布。	
個別予防接種	DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）生後3カ月～90カ月未満		[個別予防接種が受けられる医療機関] *勤医協当別診療所 *近藤医院 *太美中央医院 *スウェーデン通り内科循環器科クリニック *さわざき医院（要予約） *とうべつ内科クリニック（要予約）	
	DT（ジフテリア・破傷風）11歳・12歳			
	麻しん 生後12カ月～90カ月未満			
	風しん 生後12カ月～90カ月未満			
成人向け	基本健康診査	各医療機関の診療時間の午前中		糖尿病や高血圧など生活習慣病のチェックができます。（40歳以上）
	転倒予防講座	18日 火 24日 月 13:30～15:30	ゆとろ	高齢の方を対象に転ばないための体づくりについて学びます。
	子宮・乳がん検診	28日 金 8:45～14:00	西コミ	子宮、乳がん検診を町内で受診できます。
	健康相談（太美）	4日 火 9:30～11:30		保健師や栄養士が健康についての相談に応じます。
	健康相談	26日 水 9:30～11:30	ゆとろ	指導日～健康運動指導士が個別に運動方法をアドバイスします。3カ月継続ができ、体脂肪や血圧測定、持久力などの体力測定を実施。必要があれば栄養相談も受けられます。（申込必要）
	健康運動相談（指導日）	14日 金 9:30～11:30		必要な方はゆとろの運動器具を使った運動実践ができます。
	健康運動相談	毎週月・金曜 9:30～11:30		脳卒中、神経難病などにより、体や言葉に不自由さがある方。
	リハビリ教室	12日 水 10:30～14:30		外に出る機会の少ない高齢の方。
	友遊会	19日 水 10:00～12:00		
	かすみ草の集い	27日 木 10:30～14:30	西コミ	外に出る機会の少ない高齢の方。
断酒会	3日 月・17日 月 18:00～21:00	ゆとろ	お酒で悩んでいる方とその家族。 （断酒会の申込み・詳細） 日中は江別保健所☎011 - 383 - 2111 夜間は工藤☎22 - 2510	

11月の予定

内容	日にち	時間	場所	内容	日時	時間	場所
転倒予防講座	1日(火)	13:30～	ゆとろ	4カ月10カ月検診(BCG)	7日(月)	9:30～	ゆとろ
子宮・乳がん検診	2日(水)	8:45～	ゆとろ	マタニティスクール	8日(火)	13:00～	ゆとろ
子宮・乳がん検診	4日(金)	8:45～	ゆとろ	女性がん検診	9日(水)	7:55～	西コミ

石綿（アスベスト）について

石綿問題については石綿製品製造工場における従業員や家族、工場周辺の住民に健康被害が多数発生し、多くの方が亡くなっていることが報道されたことを契機に大きな社会問題となりました。また、今後もさらに健康被害が増加することが懸念され、社会的な関心を集めています。

ここでは、石綿の特徴、今後の対策と健康管理、相談窓口についてお知らせしたいと思います。

◇石綿の特徴

石綿は天然の鉱物であり、「軽い」「熱に強い」「摩擦に強い」「変質しにくい」などの特徴から、安価な工業材料として身近に様々な用途で加工・使用されてきました。

その反面、身体に与える影響として、とても軽く飛び散りやすいため長く空気中に浮遊して吸い込みやすい、繊維が目に見えないほど小さい、肺に入っても分解されず排出されにくい、発ガン性があるということがあげられます。しかし、空気中に飛び散らない状態では人の身体に影響はないと言われています。

◇今後の対策と健康管理

1970年～1990年にかけて、石綿は大量に輸入され多くは建材として建築物に使用されました。国では今後、解体時などの飛散防止の徹底と、製造・新規使用の早期全面禁止の取り組みを重要課題としています。

また、8月には厚生労働省で専門家が集まり住民の健康影響の実態把握や健康管理方法、不安の解消についての検討が始まりました。

石綿に関する健康被害の中で肺がんを発症する危険は、喫煙により何倍にも上昇すると報告されています。健康増進のために禁煙は重要なポイントと言えます。

◇健康についての相談

◆江別保健所 ☎011 - 383 - 2111

◇労働者の相談

◆北海道労働局労働基準監督部 ☎011 - 709 - 2311

◆札幌中央労働基準監督署 ☎011 - 281 - 4270

◆札幌東労働基準監督署 ☎011 - 894 - 1120

◇健康被害を受けた方の相談

◆産業保健推進センター ☎011 - 726 - 7701

分からないことは、江別保健所にお問い合わせください。(ホームページではQ & A集とリンクされていますのでご覧ください。)

江別保健所 (石狩保健福祉事務所 保健福祉部) 保健師 佐々木香苗



Hospital

内科系急病当番医

平日 ⇒ 19時～21時

土曜日 ⇒ 14時～17時

日曜・祝日 ⇒ 9時～12時・14時～17時

10月 (内科系急病当番医)

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
太美	とうべつ	さわざき	堀江	近藤	堀江	勤医協
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
堀江	スウェーデン	太美	とうべつ	さわざき	堀江	近藤
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
堀江	勤医協	堀江	堀江	太美	とうべつ	さわざき
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
堀江	近藤	堀江	勤医協	堀江	堀江	スウェーデン
29日	30日	31日				
とうべつ	さわざき	堀江				

11月 (内科系急病当番医)

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
近藤	堀江	勤医協	堀江	堀江	スウェーデン	太美
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
さわざき	堀江	近藤	堀江	勤医協	堀江	堀江



旬の野菜は、ビタミン・ミネラルがたっぷり。
血液サラサラ、美肌に効果があるよ!

(1日5皿の野菜料理を
食べよう!)

医療機関

勤医協当別診療所	☎23-3010	末 広
近藤医院	☎23-2021	園 生
さわざき医院	☎25-2055	北栄町
とうべつ内科クリニック	☎22-1313	西 町
太美中央医院	☎26-2332	太美南
スウェーデン通り 内科循環器科クリニック	☎25-3151	太美町
堀江病院	☎22-3111	樺戸町
当別ファミリークリニック	☎26-4649	ビトエ
北海道医療大学歯科内科クリニック	☎23-1211	金 沢

上記の機関で、基本健康診査を受けることができます。

楽しく書道に取り組む

当別町立当別小学校



全道書道コンクール 5年連続16回目の優勝
全国書道展 10年連続21回目の優勝

◆書道の取り組みが

盛んなのですね

日本書道連盟が主催する第36回全道書道コンクールに出品し、団体の部で5年連続の優勝を飾ることができました。当別小学校では、昭和57年にこのコンクールで初優勝してから16回の優勝を数えます。このコンクールには毎年、自主的に、約120人が参加し、170点前後の作品を応募しています。児童が入れ替わっても上級生から下級生へ書道のおもしろさが受け継がれ、良い作品、良い結果につながっています。

◆児童たちの取り組みの様子は

練習は、授業中のほかに放課後、5人くらいの先生が指導しています。個人のレベルはそれぞれですが、児童たちは「今日は良いのができたね」などと声を掛け合い笑顔で楽しみながら筆を持っています。

優勝した喜びからまた来年も頑張ろうという意識が芽生え、書かないといけないという使命感ではなく、自分たちが好きだから書いているという雰囲気生まれ、最近、放課後に残って練習する子供も増えており、書道に対する意識がどんどん高まっています。

この自主性が学校生活や学習への取り組みにつながるのだと思います。

◆これからも続けて

行きたいですね

ここまで書道の取り組みが続いているのは、家庭、学校、地域でうまく連携が取れているからだと思います。

当小に今年発足した「オヤジの会」が掲示板の作成を計画中で、ここに児童の作品を掲示して多くの方に見ていただければ、更に子供たちの励みになると思います。

これからも、家庭や地域からの応援を受け、助け合い、励まし合いながら「書道」の伝統を守り続けたいです。

今回は、書道を指導している藤井康博先生にお話を聞きました。

当別の風景

「晴天にそびえる」

川下右岸にて撮影

写真提供 笠井 嗣夫さん(札幌市)

